

みどり 《適塾》

大阪大学のルーツとしての「適塾」文化と「みどり」テクノロジーの融合

第4回 デザイン思考勉強会 (2017/8/5)

生物時計の仕組みを明らかにする生物発光技術

生物を起点とした『みどり』テクノロジーによるオープン・イノベーションを実現する



「植物などの生物由来の科学的知識を、社会の問題解決に実装するために具体化する方法」

みどり《適塾》では、ホタルよりも100倍以上明るく光る化学発光タンパク質をはじめとした植物活用テクノロジーの実践を共に考える議論を2016年9月16日に開始しました。

第4回目となる今回のデザイン思考勉強会では、「生物時計の仕組みを明らかにする生物発光技術」に関する話題提供をいただき、みどりテクノロジーを社会の問題解決のために役立てる方法について、皆様と議論を行いたいと思っております。

社会の様々な方々(企業やみどりテクノロジーに興味を持たれる方々)・自治体との連携によるオープン・イノベーションを実現するため、本会の趣旨にご賛同をいただける皆様のご参加と、協働ができることを心よりご期待申し上げます。

日時：2017年8月5日(土) 13:30～18:00
場所：グランフロント大阪 北館 タワーC 9階902号室
大阪大学工学研究科 オープンイノベーションオフィス
(〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1)
参加費：1,500円 <※今回は交流会費用込みとなっております>
(「企業および大学関係者ではない一般市民の方」および「学生」は1,000円)

13:30～ 受付
14:00～14:15 概要説明 永井 健治 塾頭(大阪大学産業科学研究所 名誉教授)
14:15～15:45 話題提供 京都大学大学院 理学研究科 小山 時隆 准教授
テーマ 「生物時計の仕組みを明らかにする生物発光技術」
15:45～16:00 休憩(写真撮影)
16:00～16:30 質疑応答及び総合討論、今後の課題整理など
16:30～18:00 交流会(同会場)

<主催> みどり《適塾》会 (<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/RAIS/business/b2/b2-2/midori.html>)
<協力> 大阪大学産業科学研究所・(一財)大阪大学産業科学研究協会・(一社)テラプロジェクト
(一社)地域創生連携活動コンソーシアム

申し込み先：みどり《適塾》会事務局 加藤久明(大阪大学産業科学研究所 産学連携室 特任助教)
(E-mail: hisaaki@sanken.osaka-u.ac.jp FAX: 06-6879-8448)